

消化器検診 Newsletter

[日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会機関紙]

No. 82

発行所:日本消化器がん検診学会
関東甲信越地方会
〒103-0025 東京都中央区日本橋
茅場町 2-1-7 タカハシビル4F
TEL・FAX / 03-5652-5321

超音波検診のゆくえ

獨協医科大学超音波センター

高田 悦雄



[はじめに]

日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会超音波部会は、他の支部に先駆け活動を行ってきた。既に年間行事が定着し、知識や検査・診断技術の向上に努めている。超音波検査で"検診"を行なうが故の問題点も存在する。走査方法や画像記録方式の統一も重要な課題である。当然これらについても超音波部会で検討しつつある。

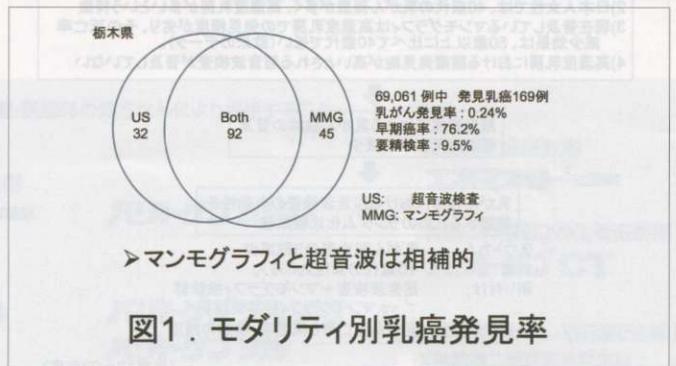
超音波検診の有効性検証については、「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験」(J-START)¹⁾が現在進行中である。"消化器"からは離れるが、"超音波検診"を探るうえで大いに参考になるのでこれ中心に検討してみたい。腹部超音波検診にも必ずや役に立つ筈である。

[J-START の経緯]

我が国の乳がん検診は欧米でのマンモグラフィによる死亡率減少効果を根拠としてスタートした。残念ながら、超音波による乳がん検診の死亡率減少効果を証明したスタディは国の内外どちらにも存在しない。しかしながら、マンモグラフィ検診は、70歳代に罹患のピークがある欧米でも見逃し例が問題となり、日本では40歳代から50台前半にピークがあるため、より dense breast の割合が多く、大内らはマンモグラフィ検診による見逃し例は40歳代で30%であると報告している。^{1,4)}

それでは乳がんの超音波検診は有効なのか無効なのかであるが、超音波検査はマンモグラフィと同様、日常の乳腺の診察には必須のモダリティとして使われ、地域あるいは医師により一部検診に取り入れられている。これらの報告によると、この二つの検査法は相補的に働くことが分かっている。(図.1) 日常の診療でもマンモグラフィと超音波検査は必須の検査である。乳がんの

検診有効性を確認するのは容易なことではない。10年生存率での有効性を証明するには10年以上かかる。対象の数も必要である。



日本では従来、ランダム化比較試験のできない国といわれてきた。しかし平成 18 年に第 3 次対がん総合戦略研究事業、がん対策のための戦略研究(Japan Strategic Anti-cancer Randomized Trial:J-START)がスタートした。これに先立ち、平成 16 年より専門委員会を立ち上げ、平成 17 年度戦略的アウトカム研究班(黒川班)報告書「いつまでもランダム化比較試験のできない国であってはならない」を受けてのことである。¹⁾

戦略的アウトカム研究とは、戦略的な大型の資金配分による確実な課題解決の必要性により創設された、新たな成果契約型の研究課題であり、国民の大局的課題となっている疾患・障害等について、5年後の成果目標を設定し、戦略的に大型な資金配分を行い、確実に議題解決を図ることを目的としている。(表.1)平成 18 年から22 年の5年計画でスタートした戦略研究は「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するためのランダム化比較試験」と「緩和ケアプログラムの有効性を検証するための比較試験」の二つである。両者に年間 2 億 5 千万 × 5 年間という予算

が割り当てられている。しかしここで取り上げている「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するためのランダム化比較試験」の実施が決定されたのが平成 18 年 12 月 27 日、仕事納めの 2 日前であり、研究リーダ決定通知は翌 1 月 5 日となった。平成 18 年度は残すところ 3 ヶ月、がん検診に携わった方は年度末の 3 ヶ月は検診の頻度が最も少ない時期であることに気付く筈である。もとより、集団検診は年度を通して予定が決められる。このため「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するためのランダム化比較試験」のスタートは実質平成 19 年度からとなったが、その年度も前半は既に検診の予定が決めているところがほとんどで、ランダム化比較試験の体制をとれなかったところが多く大部分は 9 月からとなった。研究スケジュールは表 .2 となっており、現在は 3 年目(実質 2 年度目)が終わろうとしている。

前述のごとく最終目標である 10 年生存率での比較はとても時間が待てない。そこでこの研究のアウトカムをプライマリエンドポイント= 検診精度(感度、特異度)、セカンダリエンドポイント= 累積進行がん罹患率、としている。(表 .3)

		平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	
研究参加施設	併用あり群	1 群	A1 (1.5 万人)	A2 (3.5 万人)	A1 (1.5 万人)	A2 (3.5 万人)
		3 群	なし	なし	A3 (1 万人)	なし
	併用なし群	2 群	B1 (1.5 万人)	B2 (3.5 万人)	B1 (1.5 万人)	B2 (3.5 万人)
		4 群	なし	なし	B3 (1 万人)	なし

本研究においては、クラスター群を以下の 4 つに分類する。
 ・クラスター群 1=A1 と A2 にマンモグラフィ・超音波検診を実施。
 ・クラスター群 2=B1 と B2 にマンモグラフィ検診を実施。
 ・クラスター群 3=A3 にマンモグラフィ・超音波検診を実施。
 ・クラスター群 4=B3 にマンモグラフィ検診を実施。
 ・クラスター群 1 とクラスター群 2 は、同一参加者に検診を 2 回(2 年間隔)で実施する。
 ・クラスター群 3 とクラスター群 4 は、検診を 1 回のみ実施する。

表.2 研究スケジュールとクラスター群の設定

- 1) わが国では乳がん死亡が急増中
- 2) 日本人女性では、40 歳代の乳がん罹患が多く、高濃度乳房が多いという特徴
- 3) 現在普及しているマンモグラフィは高濃度乳房での発見精度が劣り、その死亡率減少効果は、50 歳以上に比べて 40 歳代で低い(欧米のデータ)。
- 4) 高濃度乳房における腫瘍発見能が高いとされる超音波検査が普及していない

超音波検査による乳がん検診の普及
乳がん死亡率の減少

乳がん検診における超音波検査の有効性を
検証するためのランダム化比較試験

アウトカム: 乳がん死亡率の 3 割減少
 対象: 40 歳代の女性約 6 万人
 割り付け: 超音波検査+マンモグラフィ検診群
 vs. マンモグラフィ検診受診群
 主要評価項目: 乳がん死亡率と罹患率・検診の精度

(平成 18~22 年度)

表.1 がん対策のための戦略研究の概要

- 背景
1. わが国では乳がん死亡が急増中
 2. 日本人は 40 歳代に多く、高濃度乳房が多い
 3. マンモグラフィは高濃度乳房で精度が低く、死亡率減少は期待できない
 4. 超音波検査による乳がん検診は標準化されていない
 5. 超音波検査による乳がん死亡率減少効果は示されていない

超音波検査による乳がん検診の標準化と普及

対象: 40 歳~49 歳女性、各群 6 万人、計 12 万人
 方法: ランダム化比較試験(RCT)
 マンモグラフィ+超音波群 vs マンモグラフィ群
 アウトカム:
 ・プライマリエンドポイント: 検診精度(感度、特異度)
 ・セカンダリエンドポイント: 累積進行がん罹患率

乳がん死亡率の減少

EBM 創成のための大規模臨床試験(RCT)の推進

表.3 研究の背景とアウトカム
乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験

目次

超音波検診のゆくえ / 高田 悦雄 1
 リレー随筆
 ・「超音波との出会い」 / 岡庭 信司 6
 ・「備えあれば憂い無し・
 喉元過ぎれば熱さ忘れる」 / 宮田 和則 7
 ・「健診と私」 / 小林 恵 8
 施設紹介 9
 第 69 回 日本消化器がん検診学会
 関東甲信越地方学会学術集会 演題募集要項 10
 第 69 回 日本消化器がん検診学会
 関東甲信越地方学会学術集会 11
 2009 年度 胃 X 線検査
 レベルアップセミナー開催予定のご案内 12
 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会
 平成 21 年度超音波部会セミナー 13

日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会
 第 11 回超音波部会研修会(日光セミナー)
 受講者募集のご案内 14
 ザ・ベスト・イメージング・コンテスト応募要項
 (The Best Imaging Contest) 15
 超音波スクリーニング実技講習会 2009 15
 放射線部会平成 21 年度事業計画案 16
 超音波部会平成 21 年度事業計画案 17
 保健衛生部会平成 21 年度活動案 18
 平成 21 年度
 胃がん検診専門技師認定試験のご案内 18
 82 号掲示板 19
 編集後記 20

[超音波による乳がん検診の問題点]

波乱のスタートとなった J-START であるが、関係者の努力と、我が国初めてとなるランダム化比較試験を実現しようとする情熱により、当初心配された研究参加団体も確実に増加している。あとは質の良い検査を全対象者に対して行えるかである。装置も一定の基準以上のものが必要であり、走査法、所見記載方法などを統一する必要がある。日本乳腺甲状腺超音波診断会議 (JABTS) と合同でガイドラインを作成し、医師向け・技師向けの講習会を開催している。それぞれ2日間の講習会の最後に動画・静止画それぞれ50問の試験を行ない、マンモグラフィ講習会とほぼ同様、A、B 判定を合格としている。(表.4)⁵⁾

	感度	特異度	推奨カテゴリー 一致度	疾患名 一致度
医師A	90%	90%	70%	70%
医師B	80%	80%		60%
技師A	90%	90%	70%	60%
技師B	80%	80%		

表.4 画像試験評価基準

超音波診断装置に関しては、周波数 10MHz (アニューレーアレイ型では 7.5MHz も可)、視野幅 35mm 以上の体表用装置で、規定のファントムにて所定の画質条件を満たすこととしている。(図.2) 画像の記録方式も重要であり、ソノプリントは経年変化が激しく、比較読影の面でも不適切である。

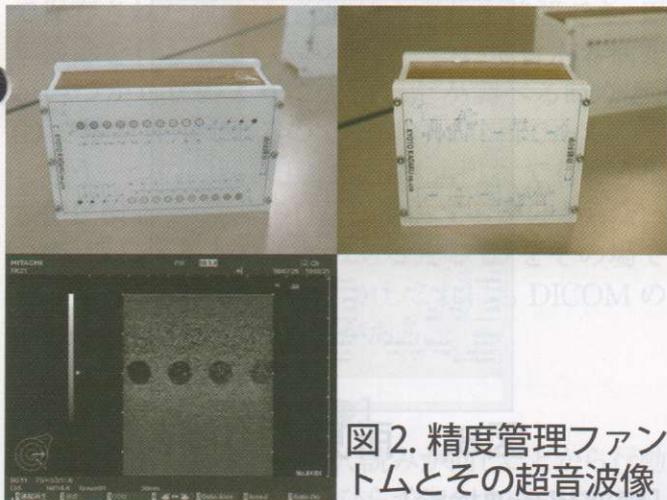


図 2. 精度管理ファントムとその超音波像

それでは実際の検査はどうであろうか。集団検診の多くは検査技師が検査を行ない、静止画を記録している。画像記録はデジタルにすべきであるし、本当に大きな mass を扱う集団検診において一人の技師が受け持つ受診者数の制限も必要となる。では人海戦術が超音波による集団検診として本当に正しい方法であろうか。

[自動スキャナ]

技師または医師による手での超音波断層法は operator dependent である。乳房は肝臓に対する肋骨のように前面に超音波を遮るものがないので、特に集団検診では機械的なスキャンが比較的やり易い臓器である。誰が撮っても良質な画像が取れることは重要であり、また代表する数枚の静止画を残すだけというのも問題が残る。中間期がんが発見された時に遡って画像を見たとしても、画像を残さなかった部分に何かあったのか無かったのか証明できない。私は、乳がん超音波検診はボリュームデータとして記録しなければならないと考えていた。10年前に構想をメーカーに伝え、乳がん検診専用超音波診断装置の開発を働きかけたが、果たしてそのような装置が売れるものかとなかなか実現しなかった。ようやく第一号機ができて間もない、今から5年前に岐阜大学の藤田広志教授からお話しを戴き、知的クラスター創成事業にこの乳房超音波自動スキャナが開発が取り入れられ、軌道に乗り出した。

開発の当初私がこの装置に希望した点は次のとおりである。

- 1) マンモグラフィ併用検診に使えるよう、両側の検査をマンモグラフィと同程度の時間でできること。(1受診者あたり3-4分)
- 2) スキャンできる範囲は片側乳房につき16×16cm とすること。
- 3) ボリュームデータが保存できること。
- 4) 手ではなく、機械的に高速でスキャンすること。
- 5) ボリュームデータの読影に時間が掛らない様 Digital Rapid Viewing で読影できること。
- 6) データは DICOM multi-frame とする。

この構想で出来上がったのが ASU-1004 (アロカ株式会社) である。ボリュームデータを扱いやすくするためには基準となるところが動いてはならず、その点仰臥位では呼吸により前胸郭が持ち上がり、3D 合成画像や Digital Rapid Viewing が波を打ってしまう。逆に腹臥位にすると呼吸の際胸郭の背側が持ち上がり前胸郭の動きは小さい。このため MAT-1 (System-1) :AUSONICS と同様の腹臥位方式としたが、MAT-1のような大きな診台と大きな水槽は出張検診にそぐわない。もう一つ重要なのは1人当たりの検査時間である。仰臥位にするか腹臥位にするかは別として、ベッドに寝て起きる動作には時間が掛る。そこで水槽をなるべく小さく、検査体位をお辞儀方式とした。(図.3) 水槽内部の構造を図.4に示すこれにより受診者はスキャナのところまで歩いて来てお辞儀し、片側ずつスキャンしてまた歩いて退出する。



図 3. スキャナ外観と検査体位

水槽内には有効視野幅約 6cm の術中用 T 型プローブがあり (図 4)、2つのモーターで図 5 の様に 3パスで 16×16cm の範囲を自動的にスキャンする。(図 5) 1mm 間隔で画像を取得すると 1パスに約 10秒、片側あたり 3パスで約 30秒にてスキャンできる。3パス分の画像を合成して表示・読影する。この viewer は前述の知的クラスター創成プロジェクトの中で作られた。(図 6)

ボリュームデータが残っているので、横断像、縦断像、C-モード、ある一定の厚みを持った slab での表示が可能である。(図 7) 所見入力もパソコン上で行なえるようにした。(図 8)

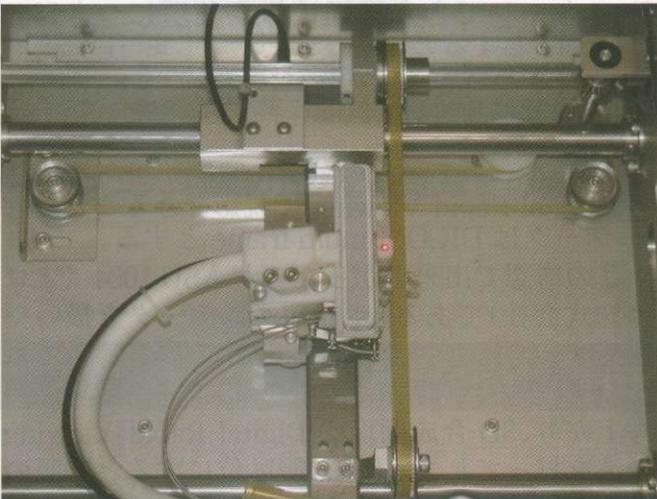


図 4. 水槽内スキャナ

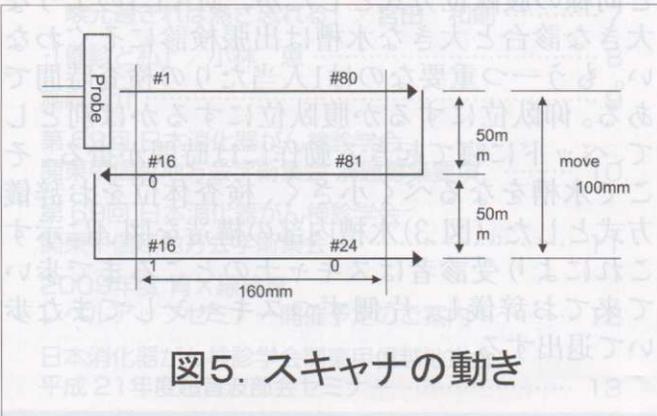


図 5. スキャナの動き

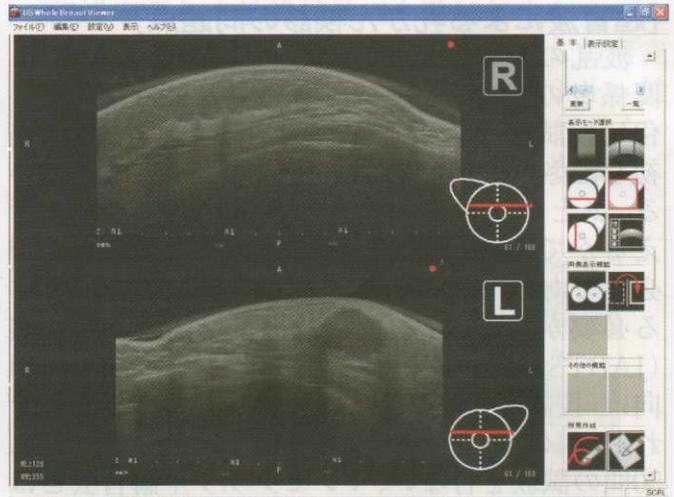


図 6. 乳がん集検機専用ビューア

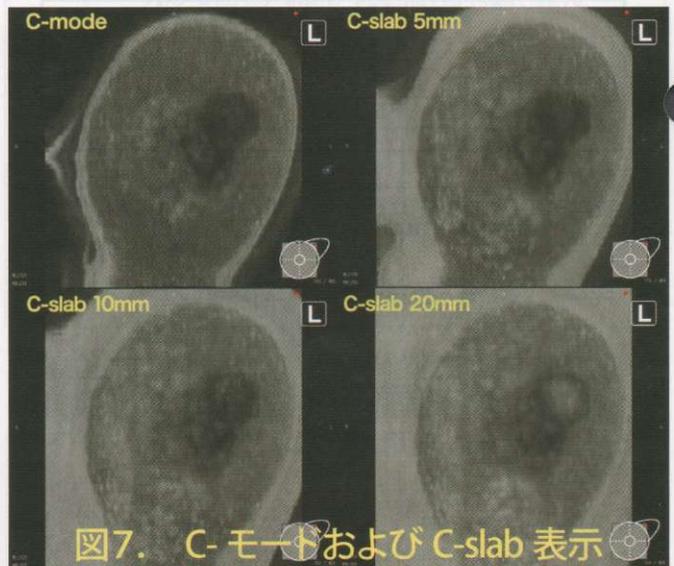


図 7. C-モードおよび C-slab 表示



図 8. 所見入力画面

【腹部超音波検診】

腹部超音波検診も乳がん検診と同様にその多くは技師が手動的にスキャンし、静止画として記録、医師が読影している。腹部超音波検診の対象臓器は一部骨や消化管ガスにシャドウされるものが多く、全自動でボリュームデータを取得することは難しいが、部分ごとに自動でボリュームデータを取得し、それぞれの一部が重なれば対象臓器全域をくま

なく記録として残すことができるかと考える。観察に時間を掛けて少ない画像を残すのではなく高速に全領域の画像を残すという考え方である。読影については多数の静止画を一枚一枚見ていくのではとても時間が掛かり現実的でない。しかし DICOM multiframe で保存した画像は "動画" として表示できるため高速読影(Digital Rapid Viewing)⁶⁾が可能であり、気になるところで静止して観察することもできる。現在市販されているマイクロコンピュータは性能が向上し、動画の扱いにも適しているので、環境は整っている。

先に述べた画像記録方式であるが、ハードコピーで保存するのは論外として、デジタルでも JPEG 方式と DICOM 方式が代表的である。DICOM で記録された画像は個々の画像に受診者やモダリティなどのデータが入っているので、画像ファイルさえ残っていれば後でデータベースを再構築することも可能である。医用画像の記録方式としては "DICOM で決まり" なのである。もともと放射線用に作られた企画であるが最近の超音波診断装置はほとんど DICOM に対応している。装置側は DICOM に対応しているか対応可能であるが、ではサーバはどうするか。施設では既に超音波室に DICOM サーバがあるか、放射線科の PACS と抱き合わせて DICOM サーバが稼働しているところも多いと思うが、出張検診ではそうはいかない。しかし、Freeware として無料で供給されているサーバソフトも存在する。装置に内蔵された MO などに DICOM で保存しておいて、施設に戻ってサーバに入れることも一つの方法である。DICOM で保存された画像は、経時的な変化を確認でき、逐年検診を行なっている受信者についてはある病変がいつからどのように変化したか調べる時など、ID で検索表示できるので圧倒的に有利である。^{7,9)}

もう一つの問題は ID である。市町村で行なう出張住民検診では、その日誰が受診するか分からないので、既に受診したことのある人の ID をその場で入力することが難しい。しかしこれにも DICOM の Admission ID という方法がある。

【腹部超音波検診の対象】

"検診" と "健診" があり、読みが同じことから行動しやすい。このため竹原はひらがなのみの "けんしん" ということばでこの両者を一括して表現している。"検診" と "健診" はそれぞれに意味が異なる。本学会の名称としては "検診" を目指すのが当然と思われる。しかし一般的には "検診" と "健診" を混在して行なっていることが多く、この "けんしん" という言葉が生まれた。さて、本学会としては何を指すべきであろうか? 日本消化器がん検診学会を名乗っている以

上、目指すは "がん検診" であろう。となるとその検診により死亡率の減少効果がなければ、がん検診としては有効といえない。"健診" を関する学会も存在する。日本消化器がん検診学会のなかで超音波部会の目標をどこに置くか他学会との違いを明確にし、超音波部会の目的とするところを定めなければならない。

【おわりに】

超音波による "がん検診" について、現在進行中の「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験」の取り組みを紹介し、腹部超音波検診について検討した。本学会の立場として、腹部超音波検診は "がん検診" を貫くのか "健診" 路線をとるのか、それとも両者を立てて "けんしん" でいくのか、それにより対象臓器の取捨選択も必要となる。重要な課題である。

< 文献 >

- 1) 大内憲明, 鈴木昭彦, 櫻井遊, 河合賢朗, 成川洋子, 石田孝宣: 超音波検診導入に向けて がん対策のための戦略研究 超音波による乳癌検. 日本乳癌検診学会誌 17: 15-21, 2008.
- 2) 大内憲明, 河合賢朗, 南優子: マンモグラフィ検診の国際比較. 乳癌の臨床 23: 173-181, 2008.
- 3) 大内憲明, 鈴木昭彦, 櫻井遊, 石田孝宣: 乳がん検診の現況と問題点. 日本医師会雑誌 137: 663-666 2008.
- 4) 河合賢朗, 石田孝宣, 鈴木昭彦, 櫻井遊, 大内憲明: がん検診の実態と課題 乳癌検診. 治療 90: 105-109, 2008.
- 5) Tohno E, Sawai K, Shimamoto K, Ueno E, Endo T, Tsunoda-Shimizu H, Shirai H, Takada E: Establishment of seminars to improve the diagnostic accuracy and effectiveness of breast ultrasound. J Med Ultrasonics 33: 239-244, 2006
- 6) 高田悦雄: 超音波画像 Rapid Viewing の臨床的意義 - 乳癌集検を中心に -. 獨協医学会誌 8: 375-384, 1993
- 7) 高田悦雄: 超音波検診用画像記録方式. 消化器集団検診 33, 562-566, 1995
- 8) 高田悦雄, 長町将雄, 下田 渉, 砂川正勝, 山根則幸: デジタルファイリングシステムの現状と展望. 消化器集団検診 37, 196-199, 1999
- 9) 高田悦雄: 超音波集検画像のデジタル保存. 第 41 回日本消化器集団検診学会大会記念誌 - 消化器検診における IT の活用 -. 71:75, 2004

< 参考 >

J-START Home Page: <http://www.j-start.org/>

リレー随筆

<医師>

「超音波との出会い」

飯田市立病院 消化器内科
岡庭 信司



初めて超音波に出会ったのは大学3年の夏ごろだったと思う。バイクの事故にて左下肢の複雑骨折を患い複数回の大手術を受けた後リハビリ生活をしていたところ、数日間の40度台の発熱の後無尿となり緊急入院した時である。当時の主治医が小さなポータブルの観測装置を病室に持ってきてベッドサイドで腎臓の検査をしてくれた。その当時はモニター画面も写真の手札サイズくらいしかなく、画像も腎臓の皮質と髄質がかろうじて分かる程度であったように記憶している。

その後なんとか医者になり佐久総合病院に赴任した。そこで消化器疾患の指導をしていた弓野明彦先生より超音波の指導をうけたのが2度目の超音波との出会いである。まもなく診療所勤務となったが、幸いなことにそこには有り余る時間と超音波観測装置があった。そこで、全ての入院患者さんに超音波を行い異常所見があるとポラロイド写真に保存し弓野先生に見ていただいた。新たな入院患者さんがいなくなると自分の体にプローブを当てて観察することに熱中した。なかでも食事が消化管内を流れていく様子は興味深く、嚥下と同時に頸部食道内を食物が通過し胃内に到達するのを見て妙に興奮したことを覚えている。

医者になって10年もすると超音波に対する興味は徐々に薄れ、女性に対する興味がこれにとって代わるようになった。そんな時に仙台市

医療センターの藤田直孝先生の発表をたまたま拝見し、提示された超音波および超音波内視鏡の画像を見て衝撃を受けた。早速施設研修をお願いすると快く受け入れていただいた。1年間の短い研修ではあったが毎日新しい経験があり、全てが楽しかった。超音波を含む画像診断に対しては特にこだわりのある施設であり、約1ヶ月の見学の後始めて撮像させてもらった超音波画像につき厳しく評価・指導をして頂いたことは忘れられない。仙台での臨床研修が現在の小生の画像診断に対するこだわりを育んだと確信している。

仙台での研修が終了し佐久総合病院に戻ったところ、長野県の東信地区に消化器研究会を立ち上げる話を頂いた。第一回の教育講演をして頂く先生を模索していた時に小諸の市川皖章先生よりご紹介いただいた方が竹原靖明先生である。竹原先生といえば超音波学会の重鎮であり小生のような者が声をかけることなど想像も付かない存在であった。そのため研究会当日も非常に緊張し食事も喉を通らなかったが、講演後の懇親会の席で先生から声をかけていただき感激した。その後もさまざまな研究会にてお会いするたびに声をかけていただき、超音波検診や技師教育といった竹原先生のライフワークにも非力ながら関わらせていただいている。その後も八海山セミナー、長野セミナー、日光セミナーなどの超音波研究会での新たな人々との出会いは尽きない。

人生のいろいろな局面で超音波を通じてかけがえのない人々に出会えたことを感謝し、今後も超音波に関わっていくことが自分の使命なのだと感じる今日この頃である。

(挿入写真：2008年メキシコにて)

Good Communication! Opus One!

私たちの経営ビジョンは、クライアントとその先のユーザーの視点に立ったソリューションカンパニーとして、どれだけきめ細やかで効率の良い広告の提案ができるかと考えています。人のぬくもりある提案は時代を超えて人々を惹きつけます。いつの時代も情報の原点は、「会話」。それは「人と人」。

私達はこの人と人の「グッドコミュニケーション」をキーワードに、心の豊かな人材と企業を育ててまいります。グッドコミュニケーションで人の和が広がり、明るい社会創りに貢献してまいります。

FUTURE BOX
このフューチャーボックスは、希望ある未来の引き出しの象徴として、当社をイメージしました。

ONLY
OPUS-ONE

主な事業内容

- ・広告・デザイン ▶ 企画・提案
- ・プロモーション戦略 ▶ リサーチ・プランニング
- ・新聞広告 ▶ 企画・提案
- ・Web広告 ▶ デザイン・企画・提案

広告代理店

株式会社 オーパスワンコミュニケーションズ

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-4-7

TEL:03-3512-3560 FAX:03-3512-3826

e-mail:opus1@opus1.co.jp URL:http://www.opus1.co.jp/

＜放射線部会＞

「備えあれば憂い無し・
喉元過ぎれば熱さ忘れる」

魚沼地域胃集団検診協議会
宮田 和則

内容は何でも良いとのことですので、4年前の中越地震についてご紹介します。

平成 16 年 10 月 23 日 17 時 56 分震度 6 強の直下型地震が突然やってきました。

小学校 1 年生の時に私の住む小千谷市は新潟地震を経験、震源地からは 80km も離れていましたが、幼心にも怖かった記憶があり、その後地震が来ると鼓動が早くなるようになりました。

小学校の頃、小千谷地震が来ると言われ、学校では防災ずきんなるものを座布団として使用し、それをかぶり繰り返し避難訓練をした記憶があります。

あれから 40 年、当日は土曜日、地震が来て 5 秒程で停電、そのまま 10 分近く揺れ続けていたように感じました。後で分かったのですが、発生から 15 分間に震度 5 強以上のゆれが 5 回連続していたようです。暗くなり棚が倒れ食器が散乱し足の踏み場もない中、携帯電話のディスプレイの明かりを頼りに懐中電灯を探し、年寄り 2 人と妻を連れて家から脱出しました。

① 各部屋の入口近くに懐中電灯を置くと良い。外に出ても揺れは治まらず、よろよろと歩き近所 4 家族で取りあえず建物から離れた所に集まりこれからどうしようかと相談しました。相談している間にも震度 5 強のゆれと地鳴りが続いてきました。

シャッターが変形した車庫から無理矢理車を出し、その晩は夕食も食べられず車の中で眠れぬ夜を過ごしました。

翌日曜日は検診が入っていたのですが道路は寸断、検診先も被災していたため検診どころではなく連絡を取り中止。勤務予定の技師、看護師等に検診の中止を連絡、職員 4 人に電話連絡を取るのに 1 時間もかかり苦労しました。

② 被災直後は被災地には電話連絡しない。翌日になっても職員 1 人に連絡が取れず心配したのですが、後で聞いた話では知人からの電話に答えていて電池切れになってしまったとのことであった。

③ いろいろ聞きたいと思うが電話は短時間で済ませる

④ 携帯電話の予備電池を持ち歩く
5 日間外で生活しました。ちょっと前にアウトドアブームがあり、テントやシュラフ、コッフェルにランタンなど持っている人も多いと思います。我が家にも一通りあるのですがしばらく前から 3 階の物置に仕

舞い込んであり、強い余震が続き怖くて家に入れず 2 日目の夕方まで取りに行けませんでした。

⑤ 震災の時に使える便利グッズは震災後取れる所に保管する

職場も悲惨な状態でした。当協議会は検診車で巡回検診を行っており、検診車は車庫の中で後ろの壁にぶつかり、側面は棚が倒れ塗装面がズタズタになってしまいました。

⑥ 棚は壁に固定しておく
車庫からの道路は液状化現象でマンホールが 1m も浮き上がり、通ることが出来ませんでした。

事務所にはロールフィルムが 1 年で 500 カン 5 年分が棚 5 段に保管してありました。地震の翌朝事務所の床には 2500 カンの巨大な山がありました。

カンは凹みスプールが出ないもの、カンと中身が入れ替わっているものなどがあり、カンを整理するのに 1 週間もかかりました。

⑦ カンが棚から落ちないように工夫しておく
(カンは外と蓋と中身がバラバラ、直撮フィルムも袋から出てしまう)

検診は 1 ヶ月間出来ず支援物資の荷下ろしと配給支援が仕事になりました。

中越地震に際しまして、全国の皆様からご支援とご心配を頂き感謝申し上げます。

また、その後の中越沖地震に際しても御礼申し上げます。

あれから 4 年、小千谷市では地震の爪痕も癒え平穏にしております。

経験しないで済むなら経験しない方が良いと思います。

しかし、私はこの地震からたくさんを学ぶことが出来ました。

人の優しさ、地域の連携、ライフラインの大切さ、自然の力の大きさ等。

地震後地域の防災計画も出来、我が家でも非常食や水、携帯ラジオ、懐中電灯に予備の乾電池等非常持ち出し品を準備しました。

しかし、この随筆のお話を頂き書きながら考えたのは、「非常持ち出し品、前回見たのはいつだったかな？水の賞味期限は切れてないかな！電池は自然放電してないかな？」でした。

中越地震の後能登沖地震、中越沖地震、宮城内陸地震と大きな地震が起こっています。最近テレビでも巨大地震の番組があります。我々経験者でも「喉元過ぎれば熱さ忘れる」で、大変だった記憶が薄れてしまいます。この随筆を見て頂いた会員の方が「じゃ、携帯電話の電池でも用意してみようかな」と思って頂ければ幸いです。「備えあれば憂い無し!!」次回のリレー随筆は神奈川県予防医学協会の植村博次さんに引き継ぎたいと思います。

<超音波部会> 「健診と私」

財団法人 日本予防医学協会
ウェルビーイング毛利 小林 恵

当診療所の名称は「ウェルビーイング毛利」です。「毛利」は所在地名ですが、「ウェルビーイング」とは心も体も健康に暮らせるようにする事を意味する言葉で、新しいライフスタイルを提案する発信基地となることを願い、名称が付けられました。

私は、診療所が新規にオープンした歳に入職した臨床検査技師の一人です。

趣味は音楽鑑賞で、特技は歌です。歌は小学生の頃、学校の音楽クラブに入部し参加した音楽コンクールで最優秀賞、文部大臣奨励賞を受賞した事をきっかけに音楽活動を続け、外国との親善活動をしてきました。

当会へ入職する以前は大学病院附属の健診センターに勤務していました。そこで健診とは受診者に、より良いサービスと確かな技術を提供する職種が集まり、それぞれの力を結集し総合力が生まれる業務という事を学び興味を持ちました。

しかし、以前の施設は超音波検査を診療放射線技師が担当する決まりでしたので、私としては以前から超音波検査に携わりたいと思っていましたので、転職を致しました。

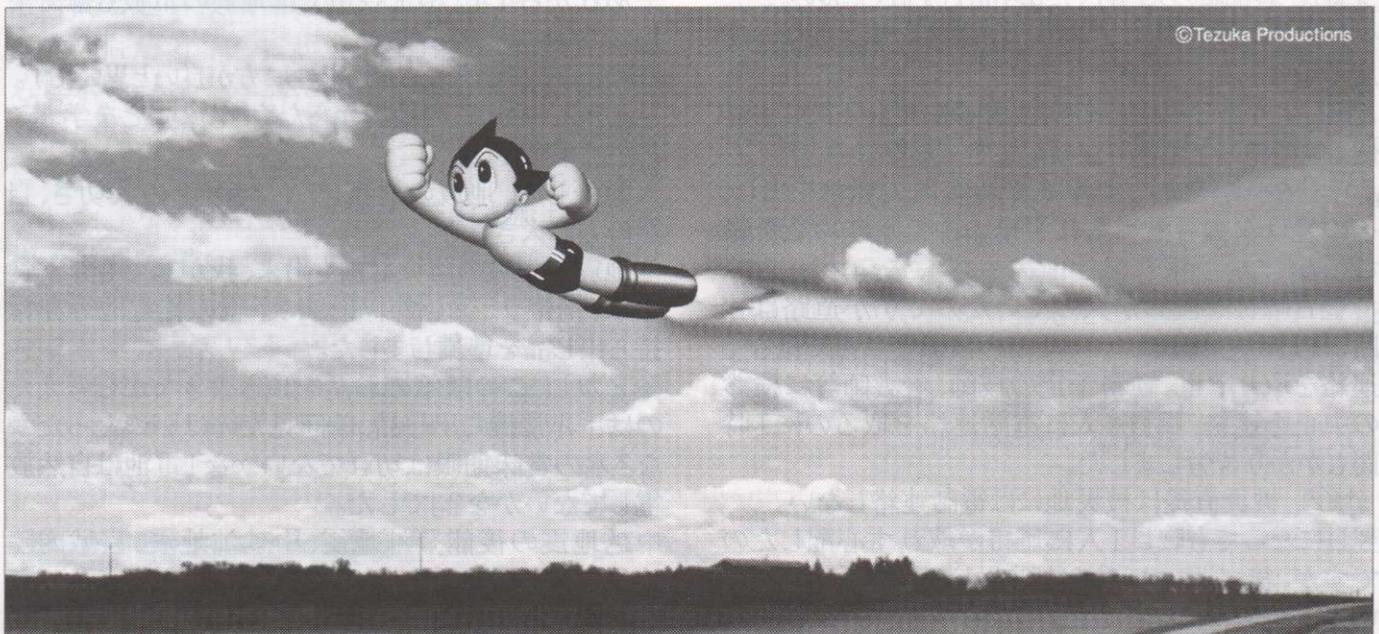
超音波検査は装置や診断学が年々発展していますので、検査に携わる私は技術と知識の向上に努めるとともに、癌検診でもありますので、十分に配慮した対応と検査をして行きたいと思います。弊会の新しい取り組みとして、昨年9月に顧客満足度向上推進室が発足しました。

私はその中の診療所チームに所属をし、先ず始めた事は企業と受診者にアンケートを記入して頂き、内容をチームで検討し即できる事は順次実施する事です。

診療所スタッフの提案で歯科指導サービスや法定基準項目以外にオプション検査を追加して行う事で受診者にあった健康管理を目指しています。

また他施設と提携し、宿泊中に体内の脂肪が燃焼し易くなるよう工夫された食事を提供し、リラクゼーションメニューを行うことで心身のリラックス、リセット出来る一泊人間ドックをオプションメニューに加えました。

健診現場では、限られた時間内で各検査を行う事が求められ、受診者への対応が機械的になり易いですが、定期的な健診や人間ドックを充実したものにする為には短い時間でも適確な対応と知識、検査技術が必要と思います。受診者に次回も受けて欲しいと思って頂けるような健診を目標に、いつも新鮮な気持ちを持って工夫と努力を限なく続けて行きたいと思っています。



指定医薬品 処方せん医薬品

注意 医師等の処方せんにより使用すること

プロトンポンプ阻害剤

[薬価基準収載]

パリエット® 錠10mg
錠20mg

<ラベプラゾールナトリウム製剤> www.pariet.jp

製造販売元

エーザイ株式会社

〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10

<http://www.eisai.co.jp>

商品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン室

☎0120-419-497 9～18時(土、日、祝日9～17時)

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意については、添付文書をご参照ください

PT0806-21

施設紹介

財団法人 日本予防医学協会 ウェルビーイング毛利

東京都江東区毛利 1-19-10
江間忠錦糸町ビル 5階

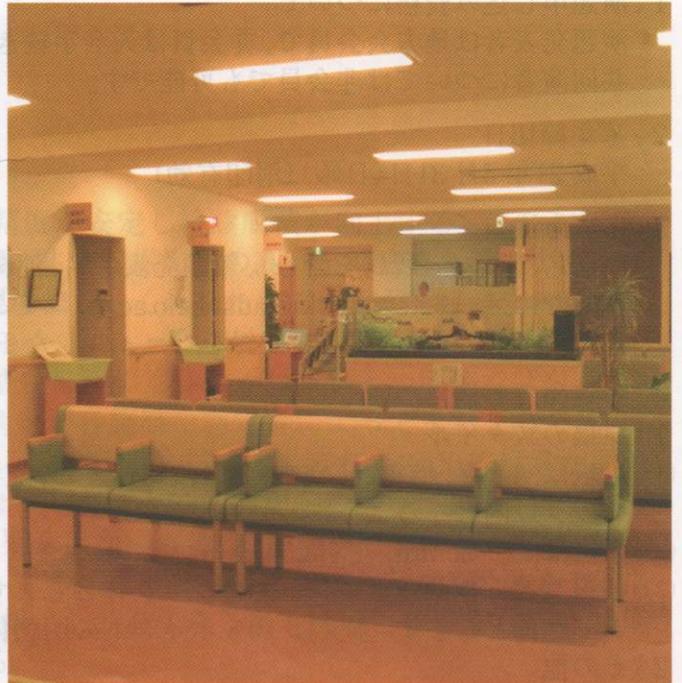
TEL : 03-3635-5711 FAX : 03-3635-5712

ウェルビーイングとは、WHO 1946年の草案がもとになった言葉で直訳すると「幸福」を表します。

健康（ウェルビーイング）は、身体的、精神的及び社会的に良好な状態を意味し、ここ毛利から健康づくりの提案を始めたいと考えています。

日本予防医学協会は1960年の設立当初から国民の皆様へ健康保持増進を図るために、教育啓発事業、健康管理事業及び健康づくり支援事業を進めてまいりました。

今後も事業を進めるにあたり、プライバシー保護に十分な配慮を行いながら皆様のところとからだの健康づくりをご支援させて頂き、トータルな健康管理サービスを提供させて頂きます。また保育所も完備しておりますので、主婦の方も安心してご受診頂けます。



《沿革》

- 1960年 日本予防医学協会設立
第一回「疾病予防対策研究会」を開催
テーマは「精神衛生概論」であった。
- 1962年 全国に先駆けて胃集団検診を開始
- 1965年 胃集団検診の全国実施
- 1967年 厚生労働省許可による財団設立
- 1975年 自動化健診(人間ドック)開始
- 1980年 コンピューターシステム導入
- 1989年 ネットワーク健診開始
- 1994年 ライフスタイル診断開発

- 1995年 食生活診断開発
- 1996年 ストレスチェック開発
- 2006年 「ウェルビーイング毛利」開設

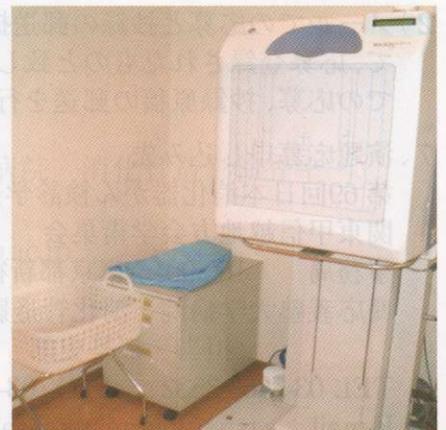
《導入装置》

- 胸部デジタル撮影装置 1台
- 胃部デジタル撮影装置 2台
- マンモグラフィ装置 1台
- 胃部内視鏡機器 1台
- 超音波検査機器 3台

《健康診断サービス内容》

人間ドック 婦人科健診 生活習慣病健診 家族健診
一般健診 特殊健診 VDT健診 健康サポートドックなどの健康診断総合施設として健康をサポートします。

精密検査として、専門医による胃内視鏡検査、大腸内視鏡検査、注腸透視検査を行っています。



第 69 回 日本消化器がん検診学会 関東甲信越地方会学術集会

演題募集要項

学術集会における会員一般研究発表の演題募集をご案内いたします。なお抄録集の体制を統一するため下記の要綱での提出をお願いいたします。

1、演題申し込み資格について

演題発表者は地方会会員で、非会員は入会手続きを済ませた後発表者とする。
共同演者については非会員でも可能です。

2、募集締切日

平成 21 年 5 月 31 日 (日曜) (消印有効)

3、応募方法

演題名、施設名(所属を含む)、筆頭発表者名、連絡先(住所、電話番号、E-Mail アドレス、)を応募締め切りまでにメール(s.tsuzuki@adst.keio.ac.jp)にてご連絡ください。
また、同時に抄録原稿及び記録をファイルした FD か CD-R 等のメディアを用いてお送りください。

4、抄録作成要綱について

1) 原稿のスタイル

- ①、用紙は A4 縦、横書き、文字列は 1 段組みとし、文字数 40、行数 40、としてください。文字数については 2 ページ以内となるようにしてください。
- ②、余白は上下 25mm、左右 25mm
- ③、抄録タイトルは 12 ポイントでゴシック体とします。演者名、共同演者名、施設名は 10.5 ポイントでゴシック体とします。本文は 10.5 ポイントの明朝体を使用してください。

2) その他

- ①、パソコンの OS は WindowsXP, Me, 2000, ワープロ書類についてはマイクロソフト社のワードで作成してください。
- ②、図表は JPG 形式、GIF 形式として別添付ファイルとしてください。
- ③、図表は必ず番号を記載し、本文挿入位置に番号をお書きください。写真の挿入はモノクロ写真となります)

5、演題応募の採否

- 1) 抄録内容を確認の上、採否を決定します。
- 2) 採否の発表は、メールにて筆頭発表者にご連絡申し上げます。
- 3) 基本的に原著論文となりえる演題を募集します。

6、その他

- 1) メールでの応募後、1 週間以内に抄録を提出してください。
- 2) メールでの応募と抄録の郵送提出がされた時点にて、応募登録されたものと致します。必ず、メールでの応募、抄録原稿の郵送を行ってください。

7、演題応募申し込み先

第 69 回日本消化器がん検診学会
関東甲信越地方会学術集会
事務局 160-0016 東京都新宿区信濃町 3 5 番地
慶応義塾大学病院 消化管造影検査室
担当 都築史郎 宛
TEL 03-5363-3532 FAX 03-5363-3675
E-mail : s.tsuzuki@adst.keio.ac.jp

～より精度の高い検診めざして～

第69回日本消化器がん検診学会 関東甲信越地方会学術集会

期 日：平成21年9月5日(土)
時 間：午前9時30分より午後6時(開場9時)
会 場：学術総合センター 一橋記念講堂
参加費：3,000円(プログラム裏面掲載)

一般演題募集中：申し込み、問い合わせは下記事務局まで



会 長 杉野 吉則
慶応義塾大学病院予防医療センター開設準備室
事務局・連絡先
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
慶応義塾大学病院 消化管造影検査室
担当 都築史郎
Tel: 03-5363-3532
Mail: s.tsuzuki@adst.keio.ac.jp

*9月6日(日)
NPO法人日本消化器がん検診精度管理評価機構の講習会を同会場にて開催予定



演題募集のお知らせ 第69回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会

第 69 回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会を9月 5 日(土)、学術総合センター——橋記念講堂において開催いたします。より精度の高い消化器がんの検診を目指して、特別講演・教育講演やシンポジウムなどを企画させていただきます。一般演題につきましても広く募集致しますので、多数ご応募くださいますようお願い申し上げます。募集締切日は平成 21 年 5 月 31 日(日曜)まで(消印有効)

1、一般演題

2、シンポジウム「胃 X 線診断の読影基準について」

胃 X 線検査の質を日常的に評価し修正すれば、精度が安定し検診成績が向上する。このことは、試行錯誤の末にガイドラインとしてまとめられた新・胃 X 線撮影法の高い早期癌率と低い要精検率が証明している。今後は、成果の明らかな本法が、現場で正しく行なわれているかを確認する仕組みづくりが求められている。

しかし、この仕組みづくりに際して、基準となる検査手順や撮影体位がいまひとつ明確ではなく、より喫緊の問題は、読影所見の記述法や処置区分の判定が各施設や判定者によってまちまちであり、読影に際しての規約や診断指標が確立されていないことである。これは、これまで X 線検診が標的とする胃癌の規模が、ある程度にも規定されていなかったことに一因があるように思う。本学会の使命が、救命可能な胃がんの早期発見であることに疑念はないものの、画像診断学にとっては、病変規模が診断の成否を左右することは論をまたない。ひるがえってターゲットの様相が決まれば、描出目標や読影目標が定められ、読影基準を論理的に構築し共有することも可能となろう。当然、精度向上を目的とする研鑽や研究の方向性も明確になる。

そこで今回は、精度管理の実践を踏まえ、自施設の X 線検診における検査・診断体制の工夫や所見記述の方法、さらには基準構築の基盤となりうる標的病変案などについて幅広く演題を募集し、読影基準の方向性を明確にしたい。

3、ワークショップ「基準撮影法の有効性を検証する」

現在、基準となる撮影法についてみると、間接撮影は日本消化器がん検診学会より提示されており、新 X 線撮影法として全国的に普及しつつあり成果も上げてきています。一方、直接撮影は基準となる撮影法がなく、各施設独自の撮影法で実施されているのが実状で、これが精度向上を遅らせる要因のひとつになっていることは周知の通りです。

こうした中、平成 20 年 11 月、NPO 法人日本消化器がん検診精度管理評価機構は、DR 撮影装置をも視野に入れた、また全国の最低限の精度向上も可能となり得る基準撮影法(基準撮影 1、基準撮影法 2)を提案されてきました。今後学会との話し合いの中で合意が得られれば、全国への普及が期待でき精度向上への大きな波となるであろう。

そこで今回、この基準撮影法を臨床の場で実施していただき、有効性についての検証を試みる企画を立ててみました。より良い撮影法に繋がればと考えています。

4、保健師部会 シンポジウム「胃がん検診安全マニュアル」

<申込及び問い合わせ>

第 69 回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会

事務局 160-0016 東京都新宿区信濃町 3 5 番地 慶応義塾大学病院 消化管造影検査室

担当 都築史郎

TEL 03-5363-3532 E-mail : s.tsuzuki@adst.keio.ac.jp

お知らせ

2009年度

胃X線検査レベルアップセミナー開催予定のご案内

放射線部会では2009年度も3回の胃X線検査レベルアップセミナーの開催を予定しています。今年度は、工藤泰放射線部会世話人が、様々な工夫・コツを年間に亘り伝授します。症例検討は、入口陽介先生、馬場保昌先生、吉田諭史先生をお迎えする予定です。お申込みは各回とも、氏名(ふりがな)、会員番号、メールアドレス、所属施設、所属施設住所、所属施設電話番号、をご記入の上、各回の申込み期間中にメールでお願いします。なお参加費は各回とも会員 1000円、非会員 2000円です。

第 6 回(予定)

会 場: 日立メディカル(秋葉原) 5月 30日(土)
 内 容: 撮りにくい胃(牛角・瀑状胃)の撮影法 : 工藤泰世話人
 胃癌取り扱い規約の理解 : 入口陽介先生
 症例検討 : 入口陽介先生
 申込み: 5月 1日から5月 22日まで。先着順
 先着 100名 glevelup6@gmail.com からお申込みください

第 7 回(予定)

会 場: 長野県内 7月 25日(土)
 内 容: バリウムの付着法 : 工藤泰世話人
 講義 (内容未定) : 馬場保昌先生
 症例検討 : 馬場保昌先生
 申込み: 6月 29日から7月 14日まで。先着順
 先着 80名 glevelup7@gmail.com からお申込みください
 会場募集中: 自施設で開催したい方は下記問合せ先までご連絡ください。

第 8 回(予定)

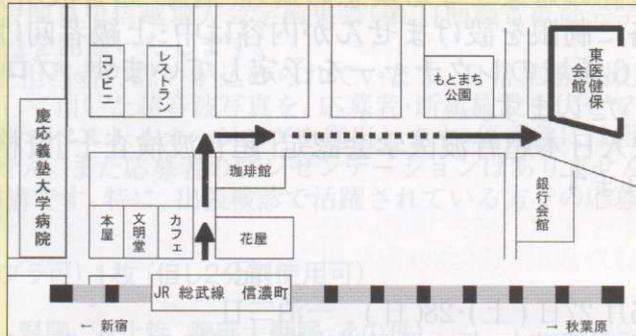
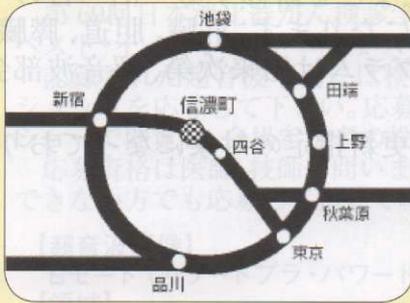
会場: 国立がんセンター中央病院 12月 5日(土)
 内 容: 講義 (内容未定) : 工藤泰世話人
 講義 (内容未定) : 吉田諭史先生
 症例検討 : 吉田諭史先生
 申込み: 11月 9日から11月 27日まで。先着順
 先着 100名 glevelup8@gmail.com からお申込みください

お問い合わせ: ksekimot@east.ncc.go.jp または ksek@dj.pdx.ne.jp まで

日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会

平成 21 年度超音波部会セミナー

会 期:平成 21 年 4 月 18 日(土)午後 1 時～ 4 時 30 分(受付開始 12 時 30 分)
 会 場:東医健保会館 大ホール 東京都新宿区南元町 4 番地
 会 費:2,000 円(非会員 3,000 円) * 事前登録不要 * 超音波検査士資格更新指定(出席 5 単位)

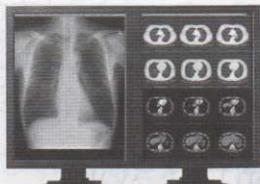


* 徒歩順路
 (JR 総武線 信濃町駅 徒歩 5 分)
 信濃町駅の改札を出て、券売機に沿って右方向へ出ると、右手に「花屋テイハナ」がある。その道の一つ目の角を右へ曲がり、「もともち公園」を過ぎると、左手に【東医健保会館】の看板が見える。

プログラム

- | | |
|--|---|
| 13:00 ~ 13:05 開会の辞 | 15:00 ~ 15:10 第 11 回超音波部会総会 |
| 13:05 ~ 13:55 教育講演 1
『技師に必要な臨床の知識…肝臓…』
講師:中島 美智子
(埼玉医科大学 包括地域医療部) | 15:10 ~ 16:30 症例検討会(スクリーニング発見 4 症例)
座長:比佐 岳史
(JA 長野厚生連 佐久総合病院)
実田 路子(二番町インタークリニック) |
| 13:55 ~ 14:45 教育講演 2
『技師に必要な臨床の知識…胆道…』
講師:竹内 和男(虎の門病院 消化器科) | 16:30 閉会の辞 |
| 14:45 ~ 15:00 休憩 | 問合先:関東中央病院画像診断科(山田)
E-mail kensa.gazou@kanto-ctr-hsp.com
ホームページ http://www.mskanus.org/ |

FUJIFILM



SYNAPSE 医用画像 ワークステーション FS-V673 型
(家事承認番号:21600BZZ000613000)

そこに、SYNAPSE がある。

これからも変わることのない信頼と安心を SYNAPSE は提供していきます。

富士フィルムが開発した医用画像情報システム (PACS)、SYNAPSE。最新テクノロジーを採用したモニター運用型 PACS として、いまや国内 260 サイトを超える施設に導入され、つねに高い評価を受けてきました。
 これまで業務の効率化を追求し、トップクラスのパフォーマンスを実現してきた SYNAPSE は、これからの PACS が進むべき方向性を見すえ、その機能をいっそう充実させるとともに、さらなる進化を続けています。
 24 時間・365 日の保守サービスやリモートメンテナンスにより、システム稼働率 99.99% に象徴される高い信頼性を実現。ハードウェア更新時やシステム更改時にも蓄積されたデータはそのまま継承するなど、将来にわたって大きな安心を提供。ますます高度化する医療の中心で、SYNAPSE はこれからも変わることのない信頼と安心を提供していきます。

SYNAPSE



日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会 第 11 回超音波部会研修会(日光セミナー)受講者募集のご案内

下記の通り、第 11 回超音波部会研修会(日光セミナー)を開催いたします。

当研修会は超音波検診担当者の教育、および指導技師の育成を目的に、超音波検査の原理、超音波画像の意義、超音波検査の対象となる疾患の病理・病態・超音波所見などを研修する一泊二日のセミナーです。受講資格に制限を設けませんが内容は中・上級者向けになります。肝臓、胆道、膵臓、腎膀胱、乳腺、基礎の 6 領域のレクチャーを予定しています。プログラムは出来次第、超音波部会ホームページに掲載いたします。

この研修会は、社団法人日本超音波医学会認定「超音波検査士」資格更新指定の対象になっており、出席 5 単位が付与されます。

記

期 日：平成 21 年 6 月 27 日(土)・28 日(日) 一泊二日

会 場：日光東照宮「晃陽苑」 栃木県日光市瀬尾 1640-14 * 3~4 人の相部屋になります

参加費：2 万 5 千円(宿泊料金・懇親会費込み)*但し、宿泊希望しない方は 1 万 5 千円

募集数：40 名(応募多数の場合は抽選になります)

申込期間：平成 21 年 5 月 1 日~16 日

申込手続：申込書に必要事項(申込書内容)を記入して E-mail、又は郵送でお願い致します

*受講者には追って参加費振込方法をお知らせ致します

申 込 先：日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会超音波部会事務局

〒158-8531 東京都世田谷区上用賀 6-25-1

公立学校共済組合 関東中央病院 画像診断科(担当:山田)

E-mail: kensa.gazou@kanto-ctr-hsp.com *電話での問い合わせはご遠慮下さい

主 催：日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会超音波部会

*超音波部会ホームページ <http://www.mskanus.org/>

第 11 回超音波部会研修会申込書

平成 21 年 5 月 日

ふりがな	
受講者氏名	男 ・ 女
	会員 No. ・ 非会員
生年月日	昭和 年 月 日 歳
資料送付先	自宅 ・ 勤務先 (○を付けて下さい)
自宅住所	〒 -
自宅電話	
施設名	
勤務先住所	〒 -
勤務先電話	
職 種	臨床検査技師・診療放射線技師・看護師・医師・その他
超音波経験年数	年
超音波検査士	有(消化器)(健診)() ・ 無
E-mail	

ザ・ベスト・イメージング・コンテスト応募要項 (The Best Imaging Contest)

第 69 回関東甲信越地方会学術集会 (第 11 回超音波部会学術集会)

会 期:平成 21 年 9 月 5 日 (土)

会 場:学術総合センター 一橋記念講堂 (東京都千代田区一ツ橋 2-1-2)

第 69 回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会 (第 11 回超音波部会学術集会) において『ザ・ベスト・イメージング・コンテスト』を開催いたします。

記録された超音波写真には検査担当者の思いが込められています。日常業務で撮影された自慢のベストショットを応募して下さい。応募して頂いた超音波写真を、応募者・所属施設を伏せて会場においてスライドショーで閲覧し、会場参加者の投票でベストイメージングを選出します。優秀賞には粗品を進呈いたします。

応募資格は医師・技師を問いません。また応募者のプレゼンテーションはありませんので、学術集会に参加できない方でも応募して頂いて結構です。特に、出張検診で活躍されている方々の応募お待ちしております。

【超音波画像】

Bモード (カラードプラ・パワードプラ可) 1 枚 (但し 2 分割使用可)

【領域】

上腹部 (肝臓、胆道、膵臓、脾臓、腎臓、消化管、腹部大動脈、その他)

【応募方法】

E-mail で件名を『ベストイメージング (応募者名)』とし、氏名・連絡先住所を明記の上、添付ファイル (power point) で応募下さい。

スライド 1 枚目氏名、所属施設名、超音波機種名、周波数、患者 (検診者) の年代・性別、診断名、コメント (術者の一言)

スライド 2 枚目超音波写真

【応募先】

新横浜ソワクリニック 担当:中村 稔
kensa.yokohama@sowa.or.jp

【締切日】

平成 21 年 6 月 30 日 (必着)

超音波スクリーニング実技講習会 2009

下記の通り『超音波スクリーニング実技講習会 2009』を開催いたします。

日本超音波医学会では第 21 回認定超音波検査士試験 (平成 18 年 2 月) から新しい領域として『健診』が加わり、検診・ドックに携わっている技師も認定が受けられるようになりました。この『健診』は消化器・泌尿器 (腎・膀胱)・体表 (乳腺・甲状腺)・頸動脈が試験領域になります。会員の多くは消化器領域だけではなく、他の領域の検査にも携わっており、体表 (乳腺・甲状腺)、頸動脈の実技講習を希望する声も多くなっています。

本講習会では超音波スクリーニング検査を行う上で必要な基礎知識習得を目的とした講義と、頸動脈・甲状腺の実技講習をグループ制 (超音波装置 1 台につき 5 名) で行います。

実技講習につきましては専属のモデルを使いませんので、受講者が交代でモデル (被検者) を引き受けて頂きます。

会 期:平成 21 年 6 月 13 日 (土)

午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時 (受付開始 9 時)

会 場:済生会横浜市東部病院 会議室

〒 230-0012 神奈川県横浜市鶴見区下末吉 3-6-1

JR 京急鶴見駅よりバス 10 分、

JR 京急川崎駅よりバス 10 分

主 催:日本消化器がん検診学会

関東甲信越地方会超音波部会

参加費:会員 10,000 円・非会員 15,000 円

募集人数:40 名 (応募多数の場合は抽選になります)

申込期間:平成 21 年 4 月 1 日 ~ 30 日

申込手続:必要事項 (氏名・性別・年齢・職種・会員 No・連絡先住所・電話・E-mail を記入し、E-mail で下記までお申し込み下さい。)

* 受講可否確認書は 5 月 10 日頃発送予定です。

申 込 先:永井美枝子 (済生会横浜市東部病院 検査科)

E-mail nn-mieko24take@m6.gyao.ne.jp

* 電話での問合せはご遠慮下さい。

プログラム

- 9:30 ~ 10:10 頸動脈超音波検査の臨床像
講師:松原 馨先生
(東京慈恵会医科大学付属病院第 3 病院)
- 10:20 ~ 11:00 甲状腺超音波検査の臨床像
講師:宮川めぐみ先生
(虎ノ門病院健康管理センター)
- 11:10 ~ 11:50 乳腺超音波検査の臨床像
講師:久保田光博先生 (山近記念病院)
- 11:50 ~ 13:00 昼食 / 休憩
- 13:00 ~ 14:30 乳腺の走査方法と症例検討
- 14:40 ~ 17:00 グループ別実技講習会 (頸動脈、甲状腺)



交通:JR・京急鶴見駅よりバス 10 分、JR・京急川崎駅よりバス 10 分

放射線部会平成21年度事業計画案

世話人会および各種委員会の活動概要

定例の世話人会の実施

放射線部会の組織図を新たに作成し、活動の活性化を図る

世話人会の下に組織運営委員会、学術運営委員会、表彰委員会、広報活動委員会の各委員会を設置し、その中に各種作業部会を置き具体的な活動を実施

世話人会

- ・年に8～9回実施する。

組織運営委員会

- ・7支部統一検討委員会
(公益特定法人化に伴う支部の統一:規約の統一)
- ・地方会の活性化に向けた放射線部会の取り組み
- ・会員増に向けた活動
- ・4組織(日本消化器がん検診学会部会委員会放射線技師部会、日本消化器画像診断情報研究会、日本消化管画像研究会、胃X線精度管理研究会)による精度向上のための合同委員会の開催

学術運営委員会

- ・第42回放射線部会総会の開催
会長 萩原常夫、平成22年2月、群馬県前橋市群馬県立健康科学大学
- ・第32回消化管造影技術研修会の開催
(平成22年3月、日本青年館、2泊3日合宿制)
- ・第6、7、8回胃X線検査レベルアップセミナーの開催
(平成21年5月30日、7月25日、12月5日、いずれも土曜日)

・症例集作成検討委員会

・読影会検討委員会

・被曝低減検討委員会

・第69回関東甲信越地方会学術集会、講習会の参加
(会長 杉野吉則:慶応大学、平成21年9月5日(土)、東京都千代田区 学術総合センター 一橋記念講堂 9月6日(日)講習会)

表彰委員会

・市川賞選考検討委員会

・技術賞選考検討委員会

・その他の表彰の選考

広報活動委員会

・放射線部会のホームページの充実

・地方会のホームページの作成に協力

・学会ホームページとのリンク

・一般人への広報活動について(ホームページの中に一般人がリンクできる個所を設ける)

平成21年1月 関東甲信越地方会放射線部会代表世話人 木村俊雄

消化管の診断に

処方せん医薬品

X線造影剤〈硫酸バリウム製剤〉

◇パウダー製剤

ネオバルギンEHD

ネオバルギンUHD

ネオバルギンHD

バリトップHD

バリブライトP

バリブライトCL

バリコンクMX

◇ゾル製剤

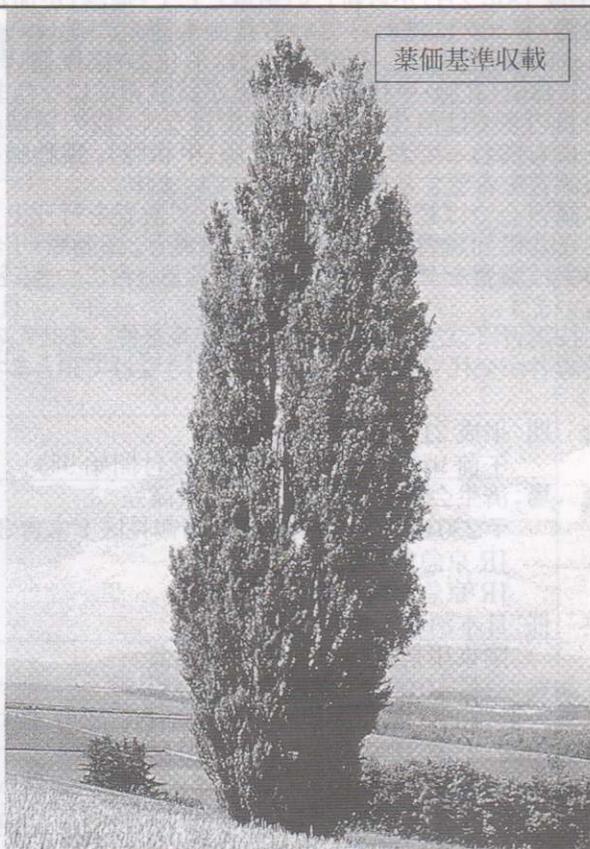
バムスターS200

バリトップ120

バリトップゾル150

バリブライトゾル180

薬価基準収載



効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

発売元



株式会社 カイゲン

大阪市中央区道修町2-5-14 [資料請求先 新薬本部]

<http://www.kaigen.co.jp>

超音波部会平成 21 年度事業計画案

- 1、引き続き、各種セミナーを通して積極的に会員の拡大に努める。とりわけ臨床検査技師への働きかけを強める。
- 2、アンケート等を通して会員の意見を反映させ、各種セミナーの充実にも努める。新たな事業として『超音波スクリーニング実技講習会』を立ち上げる。
- 3、超音波部会ホームページを修復し、内容の充実にも努める。

(1) 平成 21 年度超音波部会セミナー

会 期:平成 21 年 4 月 18 日(土)
午後 1 時～4 時 30 分(受付開始 12 時 30 分)

会 場:東医健保会館 大ホール
東京都新宿区南元町 4 番地

参加費:2,000 円(非会員 3,000 円)

プログラム:

教育講演 1『技師に必要な臨床の知識…肝臓…』

講師:中島美智子

(埼玉医科大学 包括地域医療部)

教育講演 2『技師に必要な臨床の知識…胆道…』

講師:竹内和男(虎の門病院 消化器科)

症例検討会(スクリーニング発見 4 症例)

座長:比佐 岳史(JA 長野厚生連 佐久総合病院)

実田 路子(二番町インタークリニック)

(2) 超音波スクリーニング実技講習会 2009

会 期:平成 21 年 6 月 13 日(土)

午前 9 時 30 分～午後 5 時(受付開始 9 時)会

場:済生会横浜市東部病院

神奈川県横浜市鶴見区下末吉 3-6-1

参加費:会員 10,000 円、非会員 15,000 円

募集人数:40 名

プログラム:

1) 講義

① 頸動脈超音波検査の臨床像

講師:松原 馨(東京慈恵会医科大学付属病院第 3 病院)

② 甲状腺超音波検査の臨床像

講師:宮川めぐみ(虎ノ門病院健康管理センター)

③ 乳腺超音波検査の臨床像

講師:久保田光博(山近記念病院)

2) 症例検討

乳腺の走査方法と症例検討

3) 実技指導

グループ別実技講習(頸動脈、甲状腺)

(3) 第 11 回超音波部会研修会(日光セミナー)

会 期:平成 21 年 6 月 27 日(土)・28 日(日)

会 場:日光東照宮「晃陽苑」

栃木県日光市瀬尾 1640-14

参加費:25,000 円

募集人数:40 名

テーマ:症例から学ぶ

プログラム:

レクチャー (1) 胆道

講師:岡庭信司(飯田市立病院)

レクチャー (2) 骨盤腔臓器

講師:関口隆三(栃木県立がんセンター)

レクチャー (3) 基礎

『超音波画像を左右する因子…分解能…』

講師:飯沼一浩(国際医療福祉大学)

レクチャー (4) 肝臓

講師:小川眞広(駿河台日本大学病院)

レクチャー (5) 脾臓

講師:中島美智子(埼玉医科大学)

レクチャー (6) 乳腺

講師:安田秀光(国立国際医療センター)

(4) 第 5 回長野セミナー

会 期:平成 21 年 8 月 1 日(土)

会 場:佐久勤労者福祉センター

(長野県佐久市佐久平駅南 4-1)

参加費:2,000 円(非会員 3,000 円)

(5) 第 69 回関東甲信越地方会学術集会 (第 11 回超音波部会学術集会)

会 長:杉野吉則

(慶応義塾大学病院予防医療センター)

超音波学術集会当番世話人:大熊 潔

(慶応義塾大学医学部放射線診断科)

会 期:平成 21 年 9 月 5 日(土)

会 場:学術総合センター

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

プログラム:

1) 一般演題

2) 教育講演

『もう一步踏み込んだルーチン検査…胆道…』

講師:大熊 潔

(慶応義塾大学医学部放射線診断科)

『もう一步踏み込んだルーチン検査…脾臓…』

講師:金田 智

(東京都済生会中央病院放射線科)

3) ザ・ベストイメージング・コンテスト

4) テクニカルミーティング

(6) 超音波スクリーニング研修講演会 2009 横浜

会 期:平成 21 年 12 月 19 日(土)

会 場:はまぎんホール ヴィアマーレ

神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-1-1

参加費:4,000 円

(7) 初心者のための腹部超音波実技講習会

会 期:平成 22 年 2 月 13 日(土)

会 場:公立学校共済組合 関東中央病院

東京都世田谷区上用賀 6-25-1

参加費:15,000 円(非会員 20,000 円)

募集人数:20 名

プログラム:講義及び実技指導

(8) 第 5 回新潟セミナー

会 期:平成 22 年 2 月 予定

会 場:朱鷺メッセ 3 F 中会議室:301・302

(新潟市中央区万代島 6 番 1 号) 予定

保健衛生部会平成 21 年度活動案

- 1 「胃集団検診におけるレントゲン撮影—安全面から見たハイリスク者対応と適応外基準についての安全マニュアルの素案づくり」
 昨年の消化器がん検診学会関東甲信越地方会 企画調整委員会で報告したとおり、他部会からのご協力を得ながら、上記の検討を続けてきた。
 安全・安心を考慮に入れた胃集団検診を行うために、胃レントゲン撮影における安全面からみたハイリスク者対応と適応外基準について、消化器がん検診学会関東甲信越学会へ安全マニュアル(仮称)の素案提示を目指す。
- 2 第 69 回消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会(東京)
 上記リスクマネジメント素案関連のテーマを予定している。
- 3 保健衛生部会会員の拡充を図る
 学術集会へのインフォメーション等により、部会員の拡充に努力する。

平成 21 年度胃がん検診専門技師認定試験のご案内

日本消化器がん検診学会では平成 21 年度胃がん検診専門技師認定試験を下記の要領にて実施することになりました。認定試験の受験を希望する方は日本消化器がん検診学会事務局に「胃がん検診専門技師認定申請書」を請求し、所定の手続きをして下さい。
 申請書類の請求は 1 人 1 部とします。複数人分を一括請求しないで下さい。返信用として送付先宛名(必ずフルネーム)を記入、140 円切手を貼付した角 2 号封筒(240×332mm)を同封して下さい。申請書類の送付は 4 月以降、事務局より発送致します。

申請書類請求期限:平成 21 年 2 月 2 日(月)～4 月 30 日(木)(消印有効)
 〒112-0014 東京都文京区関口 1-14-7 和田文栄ビル 2 階
 日本消化器がん検診学会 技師認定申請書請求係
 TEL:03-3235-6754 FAX:03-3235-7647

記

平成 21 年度胃がん検診専門技師認定試験実施要項

1. 試験期日:平成 21 年 9 月 6 日(日) 13:00～15:00
2. 試験会場:総評会館(東京都千代田区神田駿河台 3-2-11) TEL:03-3253-1771
3. 受験資格:次の各号の条件を満たす者
 - ①診療放射線技師あるいは診療エックス線技師の資格を有し、実務経験 3 年以上であること。
 - ②平成 21 年 4 月 30 日において3 年以上継続して日本消化器がん検診学会正会員もしくは支部会員であること。(認定制度規程第 3 条)
 - ③上部消化管撮影実績として間接撮影 1 年間 1,500 例以上の経験を有すること。[3 年間で 4,500 例以上] 直接撮影のみの場合は 1 年間 300 例以上の経験を有すること。[3 年間で 900 例以上](間接 5 例は直接 1 例に相当)
 - ④研究研修歴として過去 3 年間に日本消化器がん検診学会の総会、部会研究会総会(大会時)、支部主催地方会のいずれかに 1 回以上出席していること。本人氏名の記載された参加証コピーを添付すること。(認定試験細則第 3 条)
4. 試験様式:筆記試験(多肢選択、マークシート方式)
5. 出題領域:上部消化管造影検査技術、胃がん検診に関する一般常識、職種倫理、撮影機器管理、緊急時対策、放射線被曝の人体への影響、癌を中心とした上部消化管疾患の撮影に関連する臨床事項等が含まれる。
6. 申請書類提出期間:第 48 回総会終了日より 2 週間
平成 21 年 6 月 20 日(土)より 7 月 4 日(土)(消印有効)
7. 申請書類提出先:申請者が所属する支部長 宛

★技師認定試験申請には下記のいずれかの参加証(氏名の記載のあるもの)が必要です。(必須)

学会名	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
総会	第 45 回 名古屋市 平成 18 年 6 月 1～3 日	第 46 回 京都市 平成 19 年 6 月 1・2 日	第 47 回 福岡市 平成 20 年 5 月 30・31 日	第 48 回 札幌市 平成 21 年 6 月 19・20 日
部会研究会総会 (大会時併催)	第 26 回 札幌市 平成 18 年 10 月 15 日	第 28 回 神戸市 平成 19 年 10 月 21 日	第 30 回 東京 平成 20 年 10 月 4 日	
関東甲信越地方会	第 66 回 甲府市 平成 18 年 9 月 2 日	第 67 回 宇都宮市 平成 19 年 9 月 1 日	第 68 回 前橋市 平成 20 年 9 月 6 日	

〈82 号掲示板〉

日本消化器がん検診学会総会のご案内

第31回部会研究会総会のご案内

日 時:平成 21年 6 月 20日(土)
 会 場:札幌市教育文化会館 小ホール
 世 話 人:第 48回日本消化器がん検診学会総会
 会長 関谷 千尋
 担 当 理 事:ちば県民保健予防財団総合健診センター
 林 學
 実行委員長:鈴木 章二(北海道対がん協会)

事 務 局:辻 邦彦
 (手稲溪仁会病院 消化器病センター)
 佐々木智子
 (天使大学大学院 看護栄養学研究科)
 札幌市東区北 13条東 3丁目 1- 30
 T E L :011 - 741 - 1051
 F A X :011 - 741 - 1077
 E-mail:48gc-kenshin@tenshi.ac.jp
 URL: http://sekiya.tenshidaigaku.net/

第32回部会研究会総会(京都市)

会期:平成 21 年 10 月 17 日(土)
 会場:京都染織会館(8階シルクホール)

2009年度大会(JDDW2009)

代表者:春間 賢(川崎医科大学内科学食道・胃腸科)
 会期:2009年 10 月 14日~17日
 会場:国立京都国際会館、他
 第 47回大会(京都市)(JDDW2009Kyoto 全面参加)
 会長:春間 賢(川崎医科大学内科学食道・胃腸科)
 会期:平成 21 年 10 月 14日(水)~17日(土)
 会場:国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都

備考:合同参加学会日本消化器病学会 会長:千葉 勉
 日本消化器内視鏡学会 会長:工藤進英
 日本肝臓学会 会長:溝上雅史
 日本消化吸収学会 会長:藤山佳秀
 日本消化器がん検診学会 会長:春間 賢

年会費未納の方へお願い 年会費未納の方は、事務処理を行う為至急お振り込みをお願いします。(事務局)

最新・腹部超音波検査の実践 —基礎から造影検査まで

編著:金森勇雄・井戸靖司・畑佐和昭・他

新たな第二世代造影剤の活用により、超音波検査は一段とその有用性が増し、CT、MRI検査を越える診断も可能となっている。本書は、超音波の基礎および造影法をもとに、腹部造影超音波、Bモード腹部超音波の臨床を解説した超音波検査入門の最新版。

A4判・248頁 ●定価(本体5,000円+税) ISBN 978-4-86003-388-0

表在エコーの実学

—乳腺・甲状腺・その他—

著者:杉山 高

乳腺エコー・マンモグラフィの豊富な症例
 写真730点、図版230点余による
 表在エコーの決定版

乳腺・甲状腺をはじめとする表在エコー検査の基本走査と正常像を解説。さらに疾患のチェックポイントを模式図で表し、そのエビデンスを症例呈示してカテゴリー評価を行った。また、マンモグラフィもエコー像と見開きで示し、両者の理解が得られるように構成。

B5判・308頁 ●定価(本体7,000円+税) ISBN 978-4-86003-385-9

腹部エコーの実学

著者:杉山 高・秋山敏一

初学者でも確実に腹部超音波をマスターできる
 「"の"の字の2回走査法」

写真1,200点余、図版300点余収載

日常診療に不可欠な腹部超音波の基礎、臨床解剖、走査法、正常像、疾患のチェックポイントを中心に、読影に役立つ豊富な症例を見開きで構成。症例にはシェーマ図で解説、必要な箇所にはCTなどの裏付けを呈示し、一貫したレイアウトで理解に役立つ。

B5判・444頁 ●定価(本体8,500円+税) ISBN 4-86003-333-7

本の内容はホームページでご覧いただけます

医療科学社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目11-9
 TEL 03-3818-9821 FAX 03-3818-9371 郵便振替 00170-7-656570
 ホームページ <http://www.iryokagaku.co.jp>

本書のお求めは ●もよりの書店にお申し込み下さい。
 ●弊社へ直接お申し込みの場合は、電話、FAX、ハガキ、
 ホームページの注文欄でお受けします(送料300円)。

編集後記

つい最近、新年を迎えたばかりだと思っていたら、早いもので平成 21 年も 4 分の 1 を過ぎようとしています。

昨年、平成 20 年を振り返ると様々な変化がありました。

サブプライム問題に端を発し、9 月、アメリカの証券会社リーマン・ブラザーズが事実上破綻した事で、リーマンショックを引き起こし、アメリカだけでは留まらず、世界経済が大混乱に陥りました。今も尚、100 年に 1 度の不況？とも表現される程の世界的景気後退の局面にたたされています。

また、大手企業正職員の大幅削減、派遣社員の大規模な契約打ち切り等、ここ最近のニュースで聞かない日は無いくらいです。

医療業界にも遅かれ、早かれ何らかの形でその影響を受ける日がやって来ることは予想されます。

堺屋太一氏の「平成三十年」という本をご存知でしょうか。「予測小説」というジャンルに属するそうですが、平成 9 年～10 年にかけて、朝日新聞朝刊に連載されていた小説を一部加筆、修正の上、2002 年(平成 14 年)に書籍化されたものです。

私がこの本を読んだのは今年、平成 21 年に入ってからですが、読みながら驚いたのは、予測小説とは言っても、今の日本の状況が小説そのものではないかと強く感じる場面が多い事です。

実際に昨年の週刊文春に掲載された記事によれば著者、堺屋氏は言っています。

「現在の日本は、私が危惧した最悪のシナリオに向かって、まっしぐらに進んでいるような気がします。」

「小説では、日本がよいよ危機に直面した時、政治家や国民が立ち上がるという設定になっています。しかし、その準備ができる前に日本が倒れてしまうのではないかと憂慮しています。」と。

この本の舞台背景、つまり平成三十年の日本は、少子高齢化による地方の過疎化が深刻で、大陸からの酸性雨が森林に深刻なダメージを与え、原油、食糧価格の高騰、消費税は 12% に引き上げられ更に 20% も視野に置いている。若者はそんな日本の暮らしに魅力を感じず働くとうとしない。また、その一方で、巷ではカラオケに変わる「パソエン」というエンターテインメントが大流行し、その娯楽を生み出した会社は、数少ない成功している企業となっていま

す。この「パソエン」がどういうものかというところ・・・是非、一度読んでみて下さい。実際、これに似たものが先日のテレビ東京の「トレンドたまご」で紹介されていました。

さらに観光、医療、高齢者介護は「15 億の民」が担っています。(つまり中国です)

この本のサブタイトルには、ずばり「何もしなかった日本」とつけられています。行政機関の執行者であるはずの官僚たちが、派閥争いや先例に従って行動する事にかまけている間に、改革のタイミングを逃してしまった結果生まれた未来(というにはあまりに近い将来)の日本の状況を、凡庸な主人公とその周囲の人々を通して淡々と描かれていきます。そこに、そうと(颯爽と、ではないのです。むしろ、前からそこにいた、というような雰囲気です)登場する改革者、革新者とも言うべき人物達。日本を動かすべき立場にいる人々の旧態依然とした考えや行動様式を横目に、より新しい考え、思い切った行動規範を打ち出す人々が戦国時代の武将になぞらえて描かれ、世の中を動かす大きなうねりを生み出していきます。

私達医療の世界では常に、検査の精度・質を高める事を必要としながら、時に経営効率を上げる事の、相反する難題を突きつけられます。精度の高い検診を行ってこそ検診だという私達の想いは、私達が信じる程には一般的に認識されていないように感じる事も時々あります。

検診の精度を高める事の意識を医療従事者に広めると同時に、一般の人達に「精度の高い検診」とは何かを理解させる啓蒙活動も学会としての役目なのではないかと思えます。

「何もしなかった日本」自分達が平成三十年の未来に立った時、そんな風に振り返らざるを得ない世の中だったとしたら・・・何とも寂しい気持ちになります。

そうならない為にも、医療従事者としても、私個人としても、今出来る事、やらなければならない事をしっかり見据えて、どんどん進んでいかなければならないと感じています。

この号が発行される頃は、関東では桜の花も咲き出している頃でしょう。

平成 21 年、たとえ日本に「変化」が訪れたとしても、明るい話題を呼び込む変化であれば良いと願うばかりです。

(財)早期胃がん検診協会 中央診療所
山本 美穂

編集委員

編集委員長

今井 貴子 米倉 福男 假屋 博一 竹林 章子 青木 敏郎
山本 美穂 今井 仁彦 笹島 雅彦 渡辺 靖 岡田 義和

(非売品)

NewsletterNo.82
広告掲載に関してのお詫び

この度NewsletterNo.82号において「伏見製薬株式会社」様の広告を掲載をせず発行に至ってしまいました。

ここでお詫びをさせていただきます。

失礼ながら差し込みページとして「伏見製薬株式会社」様の広告を掲載させていただきます。

食道から大腸まで

適確診断のために……

薬価基準収載

処方せん医薬品 注意・医師等の処方せんにより使用すること

【硫酸バリウム製剤】

■ 上部消化管X線造影剤

バリテスター[®] A240散

バリトゲン[®] SHD

■ 注射用X線造影剤

エネマスター[®] 注射剤

■ X線CT用経口消化管造影剤

バリトゲン[®] CT

■ 消化管X線造影剤

バリトゲン[®] HD

バリトゲン[®] ゾル145

バリトゲン[®]

バリトゲン[®] ゾル

【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】

■ X線診断二重造影用発泡剤

バリトゲン[®] 発泡顆粒

バリトゲン[®] デラックス

ウムプラゾル[®] A

■ 胃内有泡性粘液除去剤

バリトゲン[®] 消泡剤

(ジメチコン内用液)

■ 緩下剤

ファースル[®] 錠

(ピコスルファートナトリウム錠)

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。

FSK 伏見製薬株式会社

● 資料請求先 / 学術室

〒763-8605 香川県丸亀市中津町1676 TEL 0877-22-7284 FAX 0877-22-6284

仙台営業所 / TEL 022-295-5667

東京営業所 / TEL 03-5328-7801

名古屋営業所 / TEL 052-732-8555

大阪営業所 / TEL 06-6221-5101

中四国営業所 / TEL 0877-22-7284

福岡営業所 / TEL 092-413-4107

やさしさと温もりをもって届けたい。